

三浦半島地域連合活動報告

タオル寄贈最終報告及び障がい者施設支援について



障がい者施設ミラークよこすかへ寄贈

前回、5月18日までに4施設へ合計410本寄贈したことをご報告しました。

その後、締め切りの5月末までにトータル525本のタオルが集まり、残りの115本を、6月9日15時30分に地域連合及川議長と篠原事務局長で「障がい者施設ミラークよこすか」を訪れて寄贈しました。

寄贈後にミラークよこすかの吉田所長と職員、電機神奈川福祉センター岡本理事長も交えて、障がい者施設の現状について意見交換を行いました。

新型コロナウイルスの影響でテレワークが進むなどの影響で、障がい者施設は仕事が激減していることは以前から聞いていましたが、思った以上に深刻な状況であることを改めて痛感しました。

特に施設に通う対象者は、遠距離通勤が難しいことから、横須賀市内での仕事を希望する人も多いのですが、横須賀市の企業からの求人自体が非常に少ないことも大きな課題であることも確認出来ました。

横須賀市全体の状況も知るために三浦半島地域連合議員団の伊関横須賀市議会議員にも意見交換にお願いし、様々な角度から支援が出来ないかを、約1時間に渡り意見交換を行いました。

今回の意見交換で、障がい者就労について理解を深めることができましたので、三浦半島地域連合としても五役会で議論を行い、構成組織への案内などを行い、出来る支援を検討していくことにしました。

障がい者施設の対象者の仕事は主に①各企業に行き職業訓練的に仕事をする②簡単な仕事の発注を受けて施設内で仕事をするようになりますが、どちらも激減していることがわかりました。

先日、障がい者施設はやぶさ工房からも連絡があり、何か仕事がないかの打診を受けました。

障がい者施設はやぶさ工房には新型コロナウイルスが流行する前は、毎月行っていた『連合の日街頭行動』のティッシュへのチラシ入れをお願いしていましたが、昨年2月以降は依頼が出来ていません。

新型コロナウイルスの影響で様々な業種に影響を及ぼしています。働く者の代表として、障がい者施設支援にも協力をして行きたいと思います。

障がい者施設はやぶさ工房へ寄贈



NPO 法人寺田プランニングよこすか中央障がい者福祉センター、はやぶさ工房

<https://www.hayabusa8823.com/>

社会福祉法人電機神奈川福祉センター、ミラークよこすか

<https://www.denkikanagawa.or.jp/service/mirarc.html>